

やまたらけ

YAMADARAKE

AUGUST
No. 72
2015

早川町郷土資料館

文化財登録記念！ 早川町郷土資料館の今昔

早川町郷土資料館。木造のうすピンクのレトロな建物で、エメラルド色に塗られ強調された窓枠や特徴的な六角形の飾り窓は、車窓からでも目立ち、思わず車を停めて寄り道してみたいと思わせる可愛らしさ。平成26年4月25日、「早川町の代表的な庁舎建築」として登録有形文化財になった。

しかし、入口を見ると、「見学には電話が必要」との掲示があり、寄ろうと思ったものの諦めてしまった人もいるのでは？よほどのことがない限り、管理するヘルシー美里のスタッフが飛んで来てくれるので、気軽に見学してみよう。

資料館は昭和18年に建設され、今年で72歳。築百年を越える古民家も少なくない早川町ではもしかしたら若者の部類かもしれない。しかし、村役場として建てられて以後、町役場の支所や集会所を経て、現在は郷土資料館として途切れることなく地域のために働き続けてきた。展示品と同じく働きの者なのだ。

今号では登録有形文化財となつたのを記念し、実際に旧三里村役場で働いていた方のお話も交えて、レトロ可愛い彼女(いや彼?)の誕生の軌跡と仕事ぶりを振りかえる。
(本文／池田未遊・コラム／柴田彩子)



**当時の感覚ではかなり洋風かなり豪華
人口増加に伴い新築された村役場**

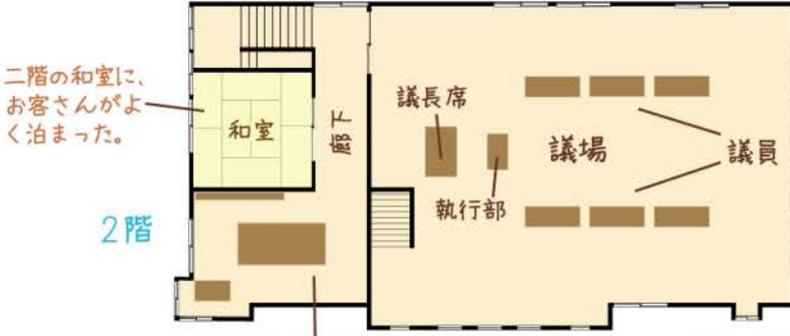
資料館は、早川町に合併される以前の旧三里村役場として建設された。ハイカラで立派な建物として話題になるほどだったそうだが、その財源の背景には当時の産業が関わっている。早川流域では豊富な水資源を活かし大正6年に水力発電会社が設立され、大正8年から昭和3年にかけて三里村にも発電所が出来た。水力発電所が町内に11ヶ所もあったのは全国でも珍しい多さだそう。特に旧三里村新倉には発電所の建設要員や職員の社宅、また物資輸送の基



▲資料館のエントランス左手に、登録有形文化財のプレートが壁にはめ込まれている(写真右、右上)。写真上は、文部科学大臣から頂いた登録証。

地、奥地林伐採要員の宿舎が置かれ、村全体で昭和35年まで急激な人口の増加が続いた。大正12年には独立して社宅という名前の集落(社宅区)になったほどだ。そんな旧三里村は合併前の六か村の中でも最も人口が多く35年には町民7685人(1565世帯)のうち2000人(450世帯)が住んでいた。町外から来た職員達の給与も高かったそう。発電・輸送・林業・鉱山など、中山間地域が近代化し成長していく時期の当時の産業が旧三里村を支え、その税収が資料館の建設にあてられたのだろう。その資料館が現在でも現役を続けるのはなんと感慨深い。

三里村役場の姿
映画・躍進三里村と聞き取りから
この建物が村役場として使われていた時代の様子が、当時、三里村役場で作成した「躍進・三里村」という映画に記録されている。左下の2枚の写真はその一コマ。聞き取り調査も併せて平面図を起こしてみた。



二階の和室に、お客さんがよく泊まった。

2階

教育委員会事務室
この部屋は、青年団の事務所も兼ねていた。



▲三里村役場正面の映像。今とは違い、建物の前には、ポプラの木が生えていたようだ。



▶役場内部から接客カウンター方向を見た様子。6つほどの机の島がいくつかあった。

木炭は豊富にあり、隣の学校も、ここに火種をもらいにくた。



ちょっとした会合や、議会の委員会はこの和室で行われた。

階段の下は、書類などを印刷する場所になっていた。

書類倉庫

仕事が終わると、重要な書類は、外にある倉庫に毎日しまった。

応接室
大きな円卓と立派なソファがあった。

コラム1 オシャレ建築を 手がけた大工さん



▲新倉集落にある藤屋。元々は料亭だった建物。二階窓の木枠には、富士山などの模様がかたどられていてとてもお洒落。

中州公民館は、ぱっと見ると、三つ並んだ窓と玄関の雰囲気、なんとなく資料館に似た印象を持つ。藤屋は、純和風の建物。二階の棧の細工や、一階奥の扇形の窓などが美しく、オシャレさという点で同じ大工さんの作品ということに納得する。



▲中州公民館。県道沿いにある。正面の感じが、郷土資料館に似ていると言えなくもない。

三里支所は昭和55年に廃止されたが、旧三里村の暮らしを中心とした民俗資料を集め、早川町民俗資料室・町民集会所として利用された。その後、昭和60年に、屋内の改修と一階平屋部分の増築がなされ、現在の早川町郷土資料館として使われるようになった。当時教育委員会に勤めていた旧三里村出身の望月賢明さん(故人)が発案し、賢明さんをはじめ、同僚の俊英さんも展示資料の収集に関わった。「使わなくなってしまう道具を皆で集めた」と俊英さん。他の資

三里村役場の建設を手掛けたのは、茂倉の大工・長沢昌義さん(大正3年生、昭和39年没)。富士宮で修行をして、宮大工の弟子だったこともあるそうだ。三里村役場に勤めている知人から依頼され、役場新築の仕事をしたとのこと。

長沢さんは、早川町北部のオシャレ建物・公共建築を建てた大工さんだったようで、旧西山村や旧三里村の学校・分校なども手掛けた。現存するものでは、資料館のほか、新倉の元料亭・藤屋と中州公民館がある。

**家に帰れない!?
ハイカラなオシャレ職場は
今も昔も大変みたい…**

そんなオシャレな役場に憧れて働き始めたのが早川集落の早川俊英さん(82歳)。役場の欠員を待って18歳で就職した当初は、役場内に泊りが

けの宿直勤務。12、13人いた職員のなかで給仕兼雑用のような立場で、昼は電話台に立ち、木の内装をピカピカに磨きあげ、夜は泊まりに来る県の職員やお客さんを世話した。「役場の先輩や客が泊まることも多く、いろりを囲んで夜話することで色々勉強になった。役場には多くの人が訪れるので、下っ端でもさまざま人がと知り合って顔を覚えてもらうことができ、その後の人間関係につながった。」と語る俊英さん。大忙しで正月しか実家に帰れなかったそうだが、公私ともに打ち込んだ二年間の

宿直は、俊英さんの人間関係や仕事の基盤になった思い出深い経験のようだ。

建てたのは、旧三里村茂倉集落の大工・長沢昌義さん。富河村役場(現南部町立富沢図書館)を参考にして作られたようで、四角い腰窓の並びや庁舎として規模が似ているので内部の間取りなどを参考にしたのであるか。特徴的な六角形の窓や縦長窓は見当たらないので、そこは長沢大工の創意工夫なのかもしれない。

**魅力的な建築は
用途が変わっても
使われ続ける**

昭和31年に旧三里村が早川町に合併した後は、町の支所として2・3人が勤務し、余ったスペースには農業共済などの事務所が入った。他の地区にも、一人勤務の出張所があったが、建物は現在残っていない。この建物が残されたのは、やはり旧三里村の規模の大きさや、建築としての良さのおかげなのだろう。

コラム2 資料館の デザイン



▲昭和16年に撮影された富河村役場の写真(出展:富沢町誌上巻P853)。この建物も現存し、現在は南部町立富沢図書館となっている。驚くことに、平成の最初まで、旧富沢町役場として使われていたようだ。

資料館は独特のデザインだ。建築時には、旧富河村役場を参考にしたという。しかし、こちらは比較的一般的な役場庁舎建築のスタイルで、デザイン面で参考にしたのかどうかはよくわからない。

資料館の特徴は、正面にあると言ってよいだろう。板張りの壁から前面に出っ張るモルタルの壁。そこに4つの六角形の窓と、3つ並んだ縦長の窓。破風の部分の縦棒の飾りと、長方形の通風孔も目を引く。

それぞれの意匠に込められた意味は、今となっては推測するしかない。たとえば3つの縦長窓。窓枠の下に、窓をつなくような横棒が配置されている。これは、3つの窓が3つの村を表わしていて、それが一つの三里村になっているというモチーフかもしれない。



今の資料館を見てみよう!



一階は、家の中の生活用具が展示の中心。正面には田炉裏があり、昔の家の内部の様子も再現されている。田炉裏を囲んで、住民が昔の暮らしの様子を子ども達に話したこともある。

料を展示した時期もあつたが、文化財登録を機に、教育委員会によって展示も再整備された。

素朴な木の板張り
とレトロ可愛い塗装

見た目も大胆イメチェン

現在の資料館は近づいてみると、昔の生えた石垣の上に建ち、うすピンクに塗られた壁は木の板張り、表には赤いポストや自転車などが置かれ、和洋折衷のレトロな雰囲気を感じられる。見上げてみると、ひさしの

裏や屋根のすぐ下には直線的な装飾も施され、現代的なアクセントも効いている。隣下には現代的なコンクリート造の早川北小学校があり、そのギャップが互いのデザインをより引き立たせている。

完成当時は、現在のうすピンクの壁も木の色のまま茶色で、今の色彩の可愛さとは違い、素朴な和風の雰囲気勝っていたよう。屋根はスペイン発祥のS字瓦葺きで、建物正面の三角屋根のシルエットは、六角窓や縦長窓と共に、この建物のチャームポイントになっている。窓枠もエ

メラルドには塗られていなかったよ。うだが、六角形の飾り窓とはなんともハイカラ。珍しい屋根とともに、塗装がなくとも奇抜な六角形を目立たせ、印象づけたのではないだろうか。一階にはカウンターがあり、カウンター内の執務空間や村長室・応接間や二階の議場には靴を脱いであがった。窓ガラスもよく見るとゆがみがあり昔の味わいが残る。現在の資料館にもその名残で土間や部屋の大柱が残っている。是非今号を持って見比べてみてはいかがだろうか。

1階

事務所横には、祭事に使うものが集められている。下の写真は、黒柱(つづら)集落のデクコロガシで使う「デク」。



田炉裏の奥は土間になっており、くど(竈)が設置されている。ここには、ゴンパチ(こね鉢)、マンジュウフカシ(せいる)など、主に台所で使う民具が展示されている。



梅雨が明けたとたん、猛暑日が続いています。暑い夏に、早川町ご当地アイスとシャーベットで涼んで下さい。6個単位でのセット販売となります。組み合わせは自由ですので、ご注文時にご指定ください。(例:ポポアイス3個とポポシャーベット3個で計6個、全種類1個ずつで計6個など)

● ポポアイス

テレビでも紹介された幻の果物「ポポ」を、ミルクとブレンドしたアイスです。



● ポポシャーベット

バナナとマンゴーを足したような「ポポ」の味わいを生かしたシャーベットです。



● 雨畑茶アイス

手摘みで丁寧に収穫された雨畑茶の風味が効いた、さっぱりとしたアイスです。



● ころ柿アイス

町内産「ころ柿」の濃厚な風味が美味しい、ころ柿の果肉入りアイスです。

● 梅シャーベット

町内産の梅を原材料に使った、爽やかでさっぱりとしたシャーベットです。



● 山葡萄アイス

山葡萄ワインや山葡萄じゅーすに続いて新しく商品化された、山葡萄アイスです。



内容/全6種の中から自由な組み合わせで計6カップのセット販売

価格/一般1,890円+送料・会員1,701円+送料

発送/ヤマト運輸クール冷凍便で発送

※到着時間のご指定は「午前中、12～14時、14～16時、16～18時、18～20時、20～21時」の中から選び、注文時にお申し伝え下さい。

締切/通年

会員価格は、早川サポーターズクラブ、及び日本上流文化圏研究所の会員に適用されます。

【ご注文】NPO法人 日本上流文化圏研究所(早川サポーターズクラブ事務局、やまだらけ編集部)

TEL. 0556-45-2160(9:00～17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日が経過しても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

2014年6月より、早川旬の直送便(本紙上及び、インターネット上の直送便サイトでの物産販売)は、早川町黒桂の「たつみや」が実施しております。商品の発送元、代金の入金先、サイト上の注文先が、「たつみや」となりますのでご了承下さい。なお、本紙上で紹介した物産に関する電話、FAX、メールでのご注文先は、引き続き事務局となります。

送料の目安:冷凍便(ヤマト運輸クール)972円〜で、東北、近畿、中国、四国、北海道、九州、沖縄は+300円〜600円程度追加料金が発生します。また、大きさや量によっても追加料金が発生する場合がございますのでご了承下さい。正確な送料は、注文後、こちらからお知らせします。

豪華賞品?が当たる やまだらけクイズ! 50

問:今回特集した三里村役場(現、早川町郷土資料館)は、何年に竣工したのでしょうか?

答: 1, 明治6年
2, 大正12年
3, 昭和18年

正解者の中から抽選で1名様に、ご当地アイス6種セットをプレゼント! 締切は9月15日(消印有効)です。

※専用の回答用はがきをお持ちでない方は、官製はがきに回答と、お名前、ご住所、電話番号をご記入の上、お送り頂いても構いません!

前回のクイズの正解は、1の「七夕」でした。抽選の結果、山本勇人さん(品川区)が当選しました! おめでとうございます!



▲アイスクリームを作る道具。展示の際、何の道具がなかなか分からず苦労した。

見学には事前連絡が必要です。

早川町郷土資料館

早川町大原野146

☎0556-48-2621(ヘルシー美里)

開館時間/9時～16時(火曜定休・年末年始休)

入館料/一般300円、小中学生150円

二階は様々な民具が、用途やシチュエーション別に展示されている。林業や電源開発、養蚕など、早川らしい民具類も展示されている。



▲マエビキ。山に囲まれた早川町を、象徴する道具のひとつ。



▲ハコブルイ。そばや小麦を水車で碾き、それをふるうための道具。蓋を開けて使う。



9/26-27

山里の暮らし体験ツアー
「山里の雑穀収穫体験」



今回の山里の暮らしは「雑穀」。春に種を播き、皆で管理してきた様々な雑穀が収穫の時期を迎えます！

地元住民の方に教えていただきながら収穫しましょう。夕食はもちろん早川町産の雑穀をふんだんに使った特別料理。様々な味や食感を楽しみましょう。

日程 / 2015年9月26日(土)～27日(日)

対象 / 中学生以上(中学生は保護者同伴)

参加費 / 大人14,000円(1泊3食付)

※参加費には宿泊代、プログラム費、昼食代、障害保険料が含まれます。

定員 / 16名

※9月23日(水)までに要申込(定員になり次第締切)

宿泊場所は「光源の里温泉 ヘルシー美里」です。JR身延線「下部温泉駅」または高速バス「飯富停留所」からの送迎をご希望の方は事前にご相談ください。

■ NEXT やまだらけ

72号特集(8月上旬お届け)

「はやかわ女子旅・ときめきプラン」

久々の旅プラン特集。今回は、女子大生2人が主役。早川を隅々まで巡り、初心者でも楽しめる、こころときめく女子旅プランを提案します。どんな旅になるか、お楽しみに！



9/19-23

はやかわ農業校 さつまいも楽級3限目
「さつまいも収穫と畑で焼きいも」



南アルプス生態邑の農園では、地域の耕作放棄地を再活用して早川ゆかりの作物を無農薬・有機栽培で育てています。そんな農園で地域の方と一緒に農体験をしませんか？

今回は大きく育ったサツマイモを掘り出して、その場で焼きイモにしておいしくいただきます。収穫の喜びと、秋の味覚をみんなで楽しみましょう！

南アルプス生態邑にご宿泊の方(キャンプは除く)は体験料が500円引きとなります。

ご参加いただいた方には、体験後のヘルシー美里温泉入浴料が無料となる嬉しい得点も♪

日程 / 2015年9月19日(土)～23日(水)

対象 / 制限なし(中学生以下は保護者同伴)

参加費 / 大人2,000円、子ども(5歳～小学生)：1,000円

※南アルプス生態邑にご宿泊すると500円引き(キャンプは除く)。参加費にはプログラム費、障害保険料、備品レンタル代が含まれます。

定員 / 20名 ※3日前まで次(定員になり次第締切)

早川サポーターズクラブ会員は宿泊費7,500円の1割引+プログラム費でご参加いただけます。



問い合わせ・申し込み先

南アルプス生態邑／ヘルシー美里

【ヘルシー美里】TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622

E-mail：info@hayakawa-eco.com

※イベント詳細はこちら <http://www.hayakawa-eco.com/>

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬莱館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島73
TEL：0556-48-2211(代)/FAX：0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館

日本秘湯を守る会々員
国定温泉湯宿を守る会々員

〒409-2701
山梨県南巨摩郡早川町奈良田344
電話 0556-48-2711
FAX 0556-48-2770
www.nukuyu.com/shiranekan/

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の細割自噴火温泉では日本唯一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿
西山温泉 慶雲館

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 <http://www.kefuncan.co.jp>

早川町 望月石材店
☎0556-45-2601

身延町 飯富展示場
☎0556-42-4440

〒400-0606
山梨県南巨摩郡富士川町十合1249
電話 0556-27-0224
ファクシミリ 0556-27-0227

十谷上湯温泉
源氏の湯

日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル

株式会社 望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1766
TEL・FAX 0556-45-2661

9/5-27

紙紐を編んで作る
遠藤貴美子『ペーパークラフト展』



今回、COCOROTOでの展示が2回目となる遠藤貴美子さんのペーパークラフト展です。紙製の紐で作る軽やかなバスケットやバッグは、使っても飾っても素敵！と好評です。小物入れはプレゼントにも喜ばれます。多くの皆様のご来場をお待ちしています！

会期 / 2015年9月5日(土)~27日(日)
※休館日: 月曜・火曜(シルバーウィーク中は開館、24日(木)代休)
時間 / 10:00~17:00

問い合わせ先

「はやかわ創造空間 COCOROTO」

住所: 山梨県南巨摩郡早川町保 1525

電話: 0556-45-2770 E-Mail: cocoroto.cs@gmail.com

ブログ: <http://cocoroto.cocolog-nifty.com/blog/>



宿の駅 清水屋

9/1-29

日本の原風景・赤沢宿を描く
「スケッチ水彩画展」



赤沢集落内の休憩所・宿の駅清水屋にて、スケッチ水彩画展を行います。江戸時代からの趣を残す赤沢宿の町並みや、豊かな自然を描いた作品を、20点程展示しています。4人の作家が季節を通して、それぞれの視点で描いた様々な赤沢宿の表情。ぜひお楽しみください。

期間 / 2015年9月1日(火)~29日(火)
9:00~16:00 ※シルバーウィーク中は開館、24日(木)代休



作家 浅野烈 小川修 柴田徳光 坂東靖夫

身延山久遠寺の参拝者のための講中宿の街。ここには慌ただしい現代の流れを避けて、ゆったりとした時間が流れていました。そんな赤沢宿に魅せられてしまった八王子の絵仲間が4人それぞれの思いを込めて描きとめたものを展示させていただきました。ぜひご覧下さい。

問い合わせ先「赤沢宿・宿の駅清水屋」
住所: 山梨県南巨摩郡早川町赤沢 193
電話: 0556-45-3232 (水曜定休)

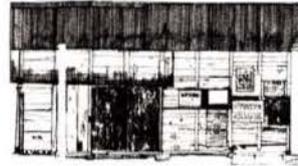
10/3-18

『川崎和彦・古民家素描画展』

建築家の川崎和彦氏(1951年 茨城県日立市生れ・一級建築士)が山梨県早川町赤沢集落の保存修復に拘って今年で21年となります。重要伝統的建造物群の保存地区を守る活動の中で出会った古民家や民具などを素描画にして残す作業もされています。



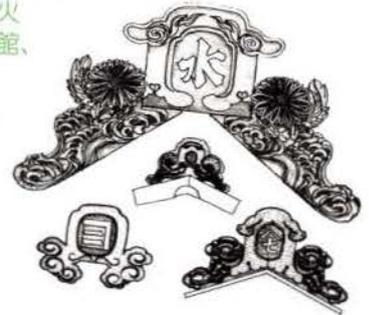
展示作品は、絵画として面白いだけでなく、朽ち、劣化を免れないこれらの詳細を建築家の目線で捉え記録した貴重な資料としても大変注目すべき内容です。



会期 / 2015年10月3日(土)~18日(日)

※休館日: 月曜・火曜(12日(祝)は開館、14日(水)代休)

時間 / 10:00~17:00



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>



霊峰七面山の登山口であなただの旅を支える

株式会社 俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社 俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荻沢 1356-1

防災用品 非常用アルファ米・保存水・発電機
簡易トイレ・防災用毛布・テント等

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

理事長 井上聡一郎
山梨県南巨摩郡早川町小縄 26
電話 0556-45-2450

早川の夏のおごっそう

おだら

望月英子さん(樽坪)、
小笠原たつゑさん、望月美代子さん(共に築菜)

「おだら」をご存知ですか? (「おざら」とも呼ばれるが、早川では「おだら」と呼ぶ人が多い)。ゆでて冷ましたほうとうの麺を、温かいつけ汁「おつけ」で味わう山梨の郷土料理です。かさを増やすために芋やカボチャを入れたほうとうと違い、小麦を多く消費するので、昔からごちそうでした。おつけは、醤油や味噌で味付け。具は季節の野菜やあるものを、好みに応じて入れ、各家庭でアレンジされました。今回は、3家庭の味をご紹介します。

夏バテしそうな暑い日でも食べやすく、具沢山にすれば栄養もたっぷり! ぜひお試しください。

材料(2~3人分)

● 出汁(共通)

煮干し……40g
干椎茸……5~6枚

① 味噌仕立てのおつけ

味噌……適量
酒……少々
みりん……大さじ1
出汁……400cc
大根……適量
ねぎ……適量

● 野菜たっぷりのおつけ

にんじん…5cm程度
しめじ…1パック
油揚げ…1枚
出汁……600cc
醤油……大さじ4
酒……少々
みりん…大さじ4

● かき玉汁風おつけ

玉ねぎ……1個
しいたけ…60g程度
卵……2個
出汁……400cc
醤油……大さじ4
酒……少々
みりん…大さじ2



今回は、山梨県産の地粉で、
麺を手打ちしました。市販
の冷麦やうどん、ほうとう
などでも代用できます。



● 出汁の取り方

干椎茸に水を注ぎ、一晩置いて戻す。戻し汁に水を加え、頭と内蔵を取った煮干しを入れる。火にかけ沸騰したら、とろ火で10~15分煮出す。



▶ 味噌仕立てのおつけ

① 出汁を火にかけて、酒、みりんを入れ、火を止め味噌を溶く。
② 葉味用に、ねぎを小口切りにし、大根をおろす。



▶ 野菜たっぷりのおつけ

① 鍋に出汁、千切りにした人参、石突きを切り落とす。一口大に裂いたしめじ、油揚げを入れ、火にかける。
② 具に火が通ったら、醤油、みりんを味を付ける。



▶ かき玉汁風おつけ

① スライスした玉ねぎと戻した干椎茸を千切りにし、出汁で煮込む。
② 酒、醤油、みりんを加え、最後に、沸騰している状態で溶き卵を回し入れたら完成!



読者の声

- 武蔵屋さんには二度寄せて頂いたことがあります。お惣菜がとておいしくて、お料理教室があれば行きたいくらいです。サポーターズクラブ運営のご報告もありがとうございます。会費がお役に立って、私たちもとても嬉しいです。(大阪市Hさん)
- 赤沢のおそば屋さん、いつも満員御礼の印象があります。洗練されたそばに天ぷら、手作りの小鉢、どれも美味しかったです。これからも健康に留意してがんばってほしいです。(杉並区Mさん)

● おいしそうなおそば! 大変興味深かったです。同じ県内に住んでいながら、なかなか行くことがありませんでしたが、この夏ぜひ家族で訪れようと思います。(甲斐市Tさん)

編集部:お葉書ありがとうございます。他にも、武蔵屋さんへの励ましのお言葉を、たくさん頂きました。7月19日には、武蔵屋さんに関係者が集まり、10周年を祝う会も開かれました。ますますの発展を願わずにはられません。そば処武蔵屋への応援を、今後とも宜しくお願いいたします!

日新火災海上保険 代理店
日新火災
幡野保険事務所
〒409-3306
山梨県南巨摩郡身延町夜子沢4020
TEL 090-8014-1337
FAX 0556-42-3073

地域発展のお手伝い! 地域の暮らしを守る!
早邦建設株式会社
小幡治山工事
【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
http://www.soho3000.com/

命を救われた捨て犬
夢之丞 災害救助
泥まみれの一步
今西乃子 著/浜田一男 写真
特定非営利活動法人ドーズウィングス・ジャパン 取材協力
定価(本体1,300円+税)
小さな命への緊急支援はやがて大きな人道支援へ。TV・ラジオ・新聞各紙で紹介され、大きな反響を呼んでいる災害救助犬の物語。
・A5判・ISBN978-4-323-06089-7
金の星社 東京都台東区小島1-4-3 〒111-0056
TEL.03-3861-1861 FAX.03-3861-1507

フェイスブック
はじめました
(雨宮 和久)
On sunny days
we can see
Mt. Fuji by
Gekgado.
月未堂 TEL(0556)22-0445

郷土資料館を調べる中で改めて早川町誌を見直し、人や産業の流れからより深く町を知ることができました。俊英さんの、職住一体の住み込み勤務は衝撃的でした。詳しい説明を交えながら、当時の職に対する取り組み方や日常生活の細やかな雰囲気をお話しくださり、ありがとうございました。貴重な資料をご提供くださった皆様にも、この場を借りて深謝致します。(池田未遊)

山を覗けば宝の山
やまだらけ

発行元/フィールドミュージアム運営委員会
NPO法人日本上流文化圏研究所内
住所/山梨県南巨摩郡早川町薬袋430 〒409-2727
電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268